



どんぐり

パークセンターだより 第112号 2011年12月・2012年1月号

プリムラ（サクラソウの仲間）

みどりの相談員
あおしま なお すけ
青島 尚 祐

プリムラは世界中に分布し、500～600種があります。特に多いのは北半球の温帯から寒帯です。日本にも14種が知られていますが、多く栽培されているのはサクラソウとクリンソウだけです。サクラソウは江戸時代に栽培されて多数の園芸品種となり300を超える品種が鉢植えで展示されるようになりましたが、野生種はさいたま市の荒川の河川敷に特別天然記念物として保護されているものだけとなりました。クリンソウは庭植えで乾燥しない半日陰の土地ならば栽培は容易です。他は関東の平地では栽培は難しいです。

大量に市販されている外国種はマラコイデス、オブコニカ、ポリアンサ、ジュリアンの4種です。プリムラはほとんどが多年草ですが暑さに弱いものが多いので種子で大量に殖やせるものが栽培されます。オブコニカ、ポリアンサ、ジュリアンは株分けでも殖やせますが5月にピート板にタネをまきます。

マラコイデスは一年草として扱われていて、普通の苗床でも発芽するが、タネが細かいし明るいところで芽を出す



プリムラ（マラコイデス）

こうこうせいしゅし ふくど
好光性種子なので覆土はしません。

生育適温は 15 ~ 25 度なので夏の暑さを避けるため風通しの良いところで遮光してやります。秋になり夜の温度が 10 度ぐらいになると花芽が出来てきます。寒さには強いのですが 0 度以下の温度に急に当てると痛みます。

鉢植えの土は赤玉土に腐葉土 3 ~ 4 割混ぜたものに緩効性肥料かんこうせいを加えた排水の良い軽い土を基本とします。生育期には水切れしやすいので水やりには気をつけます。

花は次々と咲いてきますが、種ができないようにこまめに花柄摘みをする事と、週に 1 回 1000 倍の液肥を与えること、室内に取り込んだものは時々日光に当てることが大切です。花弁が落ちて葉や茎に付いていると病気の元になります。よく手入れをしていれば長い間楽しむことができます。

~自然観察舎 湿地の観察会のご案内~

実施時間	実施日
10:00 ~ 10:30	土曜日 日曜日 祝日
11:00 ~ 11:30	
13:30 ~ 14:00	
14:30 ~ 15:00	

【定員】

先着 25 名 (当日受付)

【受付】

自然観察舎窓口

【電話】

047-340-4140

クイズのこたえ : 2

みどりの相談室

パークセンター「みどりの相談室」では、相談員の先生が園芸に関するさまざまな質問に無料でお答えします。電話でもお受けしていますのでお気軽にご相談下さい。

【相談日】 水・土・日曜日と祝日

【時間】 午前 10 時 ~ 12 時・午後 1 時 ~ 3 時 30 分

【電話】 047-345-8738

ハナミツバチ



初心者^{やちょうしきべつ}の野鳥識別ポイント

自然解説員
いまむらひろゆき
今村裕之

バードウォッチングを始める方に識別ポイントを書きますので、お役に立てて下さい。

21世紀の森と広場の自然観察舎には、野鳥図鑑^{ぼうえんきょう}、望遠鏡がそろっています。双眼鏡^{そうがんきょう}は無料で借りられます。

まずカモから入るのをお勧めします。あるていど大きいし、水の上に浮いているので、動きもゆっくりしていて、望遠鏡で追うのも簡単かも知れません。カモの雄^{おす}は、カラフルな色をしています。見間違うことはないでしょう。

ただ9月から10月に渡って来たばかりのカモは、雌雄^{しゆう}の区別のつかない種が多々あります。この時の雄をエクリップスと言います。でも雄の特徴^{とくちょう}をどこかに持っています。

マガモの雄は雌と同じような色をしています^{くちばし}が、嘴だけは黄色く、ここだけは変わらないのです(図1参照)。でも雌同士は、みんな褐色^{めす}をしていて、みな同じように見えますが、少しづつ特徴をもっています。

マガモの雌とオカヨシガモの雌は、嘴が同じように見え、遠くにいる時など、間違えやすいのですが、マガモ雌は^{さんれつかざきり}三列風切が大きく、オ



図1 マガモ (エクリップス)

カヨシガモ雌は^{よくきょう}翼鏡(次列風切)が白く目立ちます。

オカヨシガモ雌とヨシガモ雌も、色合いは良く似ていますが、嘴の色がまったくちがいます。オカヨシガモ雌は、額の付根から嘴の先端に向かって黒く、両わきは黄色味をおびたオレンジ色をしています。ヨシガモ雌は嘴全体が黒です。

コガモ雄のエクリップスと、トモエガモ雄も似ています。トモエガモ雄は、顔がトモエマークになっているので、トモエガモと言います。コガモ雄のエクリップスは、顔の緑色になる部分が、縁取^{ふちど}られ始めるころ、トモエガモと、間違えることがあります。11月頃になれば、縁取りの緑もはっきりするので、間違えることは

ないでしょう。

コガモとトモエガモ、大きさも同じくらい雌同士は見分けづらいのですが、トモエガモ雌の嘴の付け根には、丸い白斑があるので、識別は出来ると思います。(図2参照)



図2 トモエガモ(メス)

千駄堀池で良く見られるカイツブリ、特に冬羽の若い個体は、頭部は黒い帽子をかぶったようです。

目線からは黄褐色おうかつしよくをしています。1羽で行動して首を伸ばし胸を張った時など、ハジロカイツブリ又はミミカイツブリと間違ふことがあります。以前写真を撮られて持って来られた方がいて、カイツブリではなく、ハジロカイツブリかミ



ミカイツブリではないかと、この時の鳥は目が黄色でカイツブリでした。ハジロカイツブリとミミカイツブリは、目線より下は白で、目は赤色をしています(図3参照)。

図3 カイツブリ(左)とミミカイツブリ(右)

千駄堀池にハジロカイツブリが初飛来するのをたのしみにしています。

千駄堀池に飛来するオオハクチョウもコハクチョウと間違いやすい。特に1羽でいる時など、大きさで判別することが出来ず注意が必要です。嘴の黄色い部分が大きいのがオオハクチョウで、小さいのがコハクチョウと、言いますが、それでは区別出来ない個体もいます。ハクチョウの嘴は、黄色い部分と黒い部分に分かれています。識別ポイントは鼻の穴の位置、黒と黄色の部分が鼻の穴の中央で分かれているのがオオハクチョウで、鼻の穴が黒い部分の中にあるのが、コハクチョウです(図4参照)。



図4 オオハクチョウ(左)、コハクチョウ(中)、コブハクチョウ(右)

手賀沼で繁殖している、コブハクチョウは嘴がオレンジ

色をしていることと、額にコブが雄にも雌にもあります。雄のコブは特に大きいです。

¹三列風切 鳥の翼の後縁をなす、長くじょうぶな羽を風切羽という。外側から内側へ初列風切・次列風切・三列風切と区別される。

²翼鏡 カモ類の翼で、特別に光沢のある色彩をしている部分。次列風切羽にある。

パークセンター12月・1月の催し物

講座名	日時	定員	講師	費用	受付
みどりの講習会「ミニ門松作り」	平成 23 年 12 月 3 日 (土) 13:30 から 15:30	20 名	県立流山高校 教諭 小松直木氏	500 円	締切 ました
みどりの講習会「冬から春へ向けてのハンギングバスケット」	平成 23 年 12 月 4 日 (日) 13:30 から 15:30	25 名	ガーデンコーデ ィネーター 杉田佳子氏	2000 円	11/15~
園芸教室「踊り葉牡丹の寄せ植えに挑戦」	平成 23 年 12 月 10 日 (土) 13:30 から 15:00	24 名	みどりの相談員 丸尾三恵子氏	2000 円	11/15~
バードウォッチング(雨天観察舎)	平成 23 年 12 月 18 日 (日) 10:00 から 11:30	25 名	自然解説員 今村裕之氏	無料	11/15~
バードウォッチング(雨天観察舎)	平成 24 年 1 月 15 日 (日) 10:00 から 11:30	25 名	自然解説員 直井宏氏	無料	12/15~
園芸教室「園芸教室(未定)」	平成 24 年 1 月 21 日 (土) 13:30 から 15:00	45 名	みどりの相談員 青島尚祐氏	無料	12/15~
バードウォッチング(雨天観察舎)	平成 24 年 1 月 29 日 (日) 10:00 から 11:30	25 名	自然解説員 今村裕之氏	無料	12/15~

年末年始・休館(園)案内

施設名	電話番号	お休み
公園	047-346-0121	12月19日(月)(臨時休園)、 12月30日(金)~1月1日(日)
パークセンター	047-345-8900	12月28日(水)~1月4日(水)
自然観察舎	047-340-4140	12月28日(水)~1月4日(水)
アウトドアセンター	047-385-1815 047-384-2234	12月26日(月)~1月7日(土)
カフェテラス (プレリユード)	047-347-5877	12月29日(木)~1月3日(火)
里の茶屋	047-347-6850	12月28日(水)~1月8日(日)
売店(わかば)	-	12月27日(火)~1月1日(日)
松戸市立博物館	047-384-8181	12月28日(水)~1月4日(水)
森のホール21	047-384-5050	12月29日(木)~1月4日(水)

植物の冬越し



自然解説員
川端祥子

日一日と寒くなる季節、あなたならどうしますか。厚手の衣類に変えたり、重ね着をしたり、カイロをつかったりして寒さ対策をしていると思います。大きな動物は暖かい場所に移動したり、寒さをよける穴の中でじっとして暖くなるのを待つのが多いといわれています。鳥も季節にあわせて自分の好きなところへ移動していきます。虫はどうしているでしょう。生みつけられる場所さまざまですが、卵で冬を越すものや、幼虫で土や落ち葉の下にもぐりこむもの、成虫で冬を越すものもいます。成虫のなかには活動しているのもいるし、ハチのように結婚飛行のすんだ女王だけが枯れ木等の隙間にもぐりこんで冬眠状態で冬を越すものもいます。また、テントウムシのように風の当たりにくいところを選んでたくさん集まってじっとしているものもいます。

では、動けない植物はどうしているのでしょうか。木には葉を落とす落葉樹と、一年中葉をつけている常緑樹があります。落葉樹は冬に葉を落としているものが多いですね。この時期は枝だけになっているように見えますが、よく見ると枝のあちこちに次の年に枝や葉や花になる小さな芽をつけているのがわかります。その芽をよく見ると細かい毛におおわれていたり、小さな葉にしっかりと包まれていたりしています。さむい季節を乗り切る知恵です。では、常緑樹はどうでしょうか。やはり葉がついている枝のところや、先端に次の年に伸びる芽が隠れています。でもほとんどの木が生長を止めています。そして暖かくなると新しい芽が伸びて、古い葉を落とし新しい葉と入れ替わります。そのため一年中葉があるように見えるのです。特にタケは葉の入れ替わりがはっきり見えるので、「タケの秋」という季節を表す言葉として俳句の季語に使われています。

では草本といわれている草はどのように寒い季節を過ごしているのでしょうか。草も花を咲かせ、実をつけます。この実はほとんど種子、普通は「タネ」といわれているものです。これは熟すと地面に落ちてすぐ芽を出すものと、成長するのにいい季節までゆっくり待つものがあります。また、風や水の力を借りて広くひろがって芽を出すもの、動物にくっついて運んでもらうものなどさまざま

に進化しています。また、根や地下茎に^{ようぶん}養分をためて新しい芽を出す準備をしているものもあります。スイセンやチューリップ、ユリ等は葉に養分をためて球根という形に変化したものです。地下茎に養分をためたのがヤマノイモやサツマイモ、アヤメのなかまでです。冬の初め、^{あおあお}青々とした葉を地面すれすれに広げているのを見ることができますが、よく見ると一枚一枚の葉が重ならないようにきれいに広がっています。上から見るとバラの花のように見えることからロゼット型といわれています。これはできるだけ広く太陽の熱を受けるためと、高さを地面すれすれにして冷たい風にさらされないようにするためです。このようなロゼット状態で冬をすごす草もたくさん見られます。たとえば、タンポポ、ナズナ、ノゲシ、アザミ、ハルジオンなど身近に見られるので探してみてください。



ナズナ



タンポポ

ロゼット(ロゼッタ)の状態の草

草むしりをしていて、取っても取ってもすぐ芽を出す草があるのをご存知ですね。ハルジオンやヤブガラシ、オモダカの仲間等身近にたくさんありますが、これらも地下茎に養分をためていてその養分で冬を越すのですが、暖かい時期に本体を取られてしまうとあわててその養分を使って芽を出すのです。ハルジオンをそっと掘ってみると細い根に混ざって少し太い根のようなものが^{しほう}四方に伸びているのが見られます。これが^{ちかけい}地下茎です。これを取り除かないとまた芽が出てくるのです。

12月19日(月)、臨時休園のお知らせ

老朽化した給水設備の改修工事に伴い臨時休園します。ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。

ドンちゃん・グリちゃんの記念スタンプコーナー

このわくのなかにスタンプをおしてね！



グリちゃんからの挑戦状

きみにこのもんだいがとけるかな？

もんだい：葉っぱが重ならないように地面すれすれにきれいに広がる草の状態を 型とか 状態というよ。 何が入るかな？

1. ロボット 2. ロゼット 3. ゼロット

こたえは、どこかのページにあるよ！

ご来園の皆様へお願い

安全、快適に公園を利用していただくため、本公園ではいくつかのルールがあります。

自転車（キックボード含む）の乗り入れ、**ペット**の持ち込み、**テント**設営、**魚釣り**（たこ糸を使ったザリガニ釣りはOK、テグスは不可）などは禁止となっています。

また**動植物の採集**や鳥などへ**エサをやる**こともかたくお断りしています。きれいな花もみんなで採ったら無くなってしまいますし、^{かわい}可愛いからと、人間の食べ物を鳥などにあげると自分でエサを捕れず、自然界で生きていけなくなり、かえってかわいそうなことになってしまいます。ルールを守って楽しく過ごして下さいね。

発行日：2011年12月1日
発行：21世紀の森と広場パークセンター
開館：9：00～16：00
（3月1日からは9：00～16：30）
月曜休館（祝日開館/翌日休館）
〒270-2252 松戸市千駄堀269
TEL 047-345-8900
<http://www.city.matsudo.chiba.jp/>

- ・ゴミは家までお持ち帰り下さい。
- ・なるべく公共の交通機関をご利用下さい。



21世紀の森と広場シンボルキャラクター
ドンちゃん・グリちゃん